



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月7日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 古川 公一
 管理部門・コーポレート部門管掌 TEL (011) 530-1000
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	336,654	6.0	8,831	△6.2	9,747	△4.4	4,384	△30.1
25年2月期第3四半期	317,675	32.6	9,417	30.2	10,192	31.7	6,270	△46.1

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 4,535百万円 (△28.0%) 25年2月期第3四半期 6,301百万円 (△45.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第3四半期	79	68	-	-
25年2月期第3四半期	118	64	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年2月期第3四半期	179,689		108,057		60.1	
25年2月期	174,443		105,779		60.6	

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 108,057百万円 25年2月期 105,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
25年2月期	-	-	19	00	-	-	21	00	40	00
26年2月期	-	-	20	00	-	-				
26年2月期(予想)					-	-	20	00	40	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	460,000	6.0	14,100	4.7	15,000	3.4	6,300	△23.7	114	49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	55,591,438株	25年2月期	55,591,438株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	566,258株	25年2月期	565,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	55,025,590株	25年2月期3Q	52,852,380株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から国内景気は緩やかに回復傾向にあるという見方があるものの、円安による輸入価格の上昇や、所得環境の改善の遅れなど、依然として、先行き不透明な状況が続いてまいりました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、引き続き不安定な雇用環境、電気料金の値上げや消費税増税などによる家計負担増加への懸念から、消費者の生活防衛意識や節約志向が一段と強まっております。また、同業各社による価格競争や異業種間の競争もますます激化しており、経営環境は引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは、今後の経営環境の変化に対応すべく「創発的破壊で成長を加速し 地域密着を基に 最強の連峰経営を築く」を方針として掲げ、市場シェアの更なる拡大と企業価値の向上を目指して各種施策に取り組んでまいりました。経営体制の強化として、組織変更により体制面での整備・拡充を図った他、委員会・プロジェクトを新設・改編し、グループ共通の課題解決に取り組んでまいりました。また、今後の積極的な営業活動に向けて、スケールメリットを活かした商品調達の見直しや、多様な販売チャネル開発を始めとする新規事業の研究を開始いたしました。

営業面では、平成25年11月にアークスRARAカードの東北地区への導入を完了し、㈱ユニバース、㈱ジョイスにおいて、クレジット機能及びプリペイド機能を搭載したグループ統一のポイントカードのご利用が可能となり、お客様の利便性が向上いたしました。今後はグループ各社の販売データの共有、分析、活用などの取り組みを進めてまいります。東北地区では8月のアークスRARAカード導入開始以来、約60万人の入会申し込みがあり、北海道内と合わせて当第3四半期連結会計期間末現在で240万人に迫る入会者数となりました。

店舗投資については、多様化するお客様ニーズと競争環境に対応するため、店舗への投資を積極的に進め、新規出店3店舗、移転新築3店舗、業態変更を含めた改装7店舗、閉鎖2店舗を実施いたしました。

新規出店は、平成25年4月に北海道内で3店舗目となる「カインズホームFC星置店（札幌市）」（運営会社㈱エルディ）、「ジョイス盛岡西バイパス店（岩手県盛岡市）」（運営会社㈱ジョイス）、同年7月には「ユニバース青柳店（青森県青森市）」（運営会社㈱ユニバース）をそれぞれ開店いたしました。

また、既存店では、地域のライフラインの役割を果たすため、平成25年11月に「スーパーチェーンふじ上富良野店（北海道空知郡）」（運営会社㈱道北アークス）が同一商圏内で他社から譲受した店舗に移転し、売場面積を拡大して品揃えの拡充を図りました。また、同月に北海道芦別市において、㈱ラルズが運営し衣料品を取扱う「ラルズブラザ芦別店」の建物内に、㈱道北アークスが運営し食品と日用品を取扱う「ラルズマート芦別店」が移転し、子会社2社が同一建物内でそれぞれ営業することにより、お客様の利便性向上とグループの経営効率向上の両立を図りました。その他、幅広い世帯を意識した品揃えや、出来立て・簡便商品の充実を図るため、札幌市内で㈱ラルズが運営する「ビッグハウス」2店舗を「スーパーアークス」へ業態変更を実施するなど5店舗の改装を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末現在の当社グループの総店舗数は291店舗となりました。

店舗運営については、グループ各社が生鮮食品を中心に売場の改善を図った結果、当第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日）の売上高及び経常利益は前年同期を上回って推移いたしました。

その他、平成25年11月には、地域活性化の取り組みとして、平成28年に予定されている北海道新幹線開業を見据え、地元金融機関等と連携し、青函圏の「食と観光」活性化支援に取り組むことを発表いたしました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,366億54百万円（対前年同期比6.0%増）となりましたが、店舗競争力強化のための新規出店及び既存店の改装投資を積極的に進めた結果、営業利益88億31百万円（対前年同期比6.2%減）、経常利益97億47百万円（対前年同期比4.4%減）となりました。

四半期純利益につきましては、当社子会社である㈱ラルズが公正取引委員会に対して納付した課徴金12億87百万円を特別損失に計上したことなどにより、43億84百万円（対前年同期比30.1%減）となりました。当該課徴金等については、独占禁止法の規定に基づき、平成25年7月25日に公正取引委員会に対して審判を請求し、現在審判手続き中であります。

なお、当社グループの経営効率の向上を図ることを目的として、平成25年12月1日付で当社子会社である㈱エルディと㈱ライフポートを合併いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して52億46百万円増加し、1,796億89百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が49億9百万円、たな卸資産が12億69百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して29億68百万円増加し、716億32百万円となりました。この主な要因は、買掛金が35億55百万円増加したことなどによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して22億77百万円増加し、1,080億57百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント減少し60.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して48億67百万円増加し、238億56百万円（対前年同期末比では31億28百万円の増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益82億59百万円、減価償却費38億26百万円、仕入債務の増加額35億55百万円、及び法人税等の支払額65億63百万円などにより、109億55百万円の収入（対前年同期比では18億87百万円の収入増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として新規出店や店舗改装に伴う有形固定資産の取得による支出29億5百万円などにより、29億77百万円の支出（対前年同期比では34億33百万円の支出増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額6億40百万円、長期借入れによる収入50億円、長期借入金の返済による支出49億23百万円、配当金の支払額22億18百万円などにより、31億11百万円の支出（対前年同期比では17億81百万円の支出減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね想定していた範囲内で推移しているため、平成25年6月11日に公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,261	26,171
受取手形及び売掛金	1,922	2,471
たな卸資産	12,390	13,660
未収入金	4,143	3,447
繰延税金資産	1,597	1,582
その他	1,459	1,728
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	42,766	49,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,277	38,999
土地	60,614	61,037
リース資産（純額）	1,583	2,100
その他（純額）	3,284	3,425
有形固定資産合計	105,759	105,562
無形固定資産		
のれん	904	490
ソフトウェア	808	786
その他	341	313
無形固定資産合計	2,054	1,589
投資その他の資産		
投資有価証券	2,787	3,126
敷金及び保証金	15,380	14,800
繰延税金資産	4,159	4,074
その他	1,907	1,853
貸倒引当金	△371	△371
投資その他の資産合計	23,862	23,484
固定資産合計	131,677	130,636
資産合計	174,443	179,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,790	27,346
短期借入金	10,261	6,353
リース債務	333	417
未払金	4,933	5,162
未払費用	2,278	2,607
未払法人税等	3,500	906
未払消費税等	619	648
賞与引当金	1,990	3,059
ポイント引当金	515	588
その他	1,630	2,352
流動負債合計	49,853	49,442
固定負債		
長期借入金	4,204	7,550
リース債務	1,382	1,858
退職給付引当金	3,217	3,253
長期預り保証金	6,431	5,988
資産除去債務	2,161	2,207
その他	1,412	1,333
固定負債合計	18,810	22,190
負債合計	68,664	71,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,683	20,683
利益剰余金	65,595	67,723
自己株式	△639	△642
株主資本合計	105,638	107,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	292
その他の包括利益累計額合計	141	292
純資産合計	105,779	108,057
負債純資産合計	174,443	179,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	317,675	336,654
売上原価	242,726	256,681
売上総利益	74,948	79,972
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	3,919	4,186
店舗賃借料	4,850	5,225
ポイント引当金繰入額	2,746	2,688
給料及び手当	24,713	27,381
賞与引当金繰入額	3,235	3,412
退職給付費用	699	793
水道光熱費	4,975	5,590
租税公課	1,351	1,445
減価償却費	3,561	3,826
のれん償却額	444	414
その他	15,032	16,176
販売費及び一般管理費合計	65,531	71,141
営業利益	9,417	8,831
営業外収益		
受取利息	62	67
受取配当金	38	51
業務受託料	340	341
その他	489	647
営業外収益合計	931	1,108
営業外費用		
支払利息	106	150
その他	50	41
営業外費用合計	157	191
経常利益	10,192	9,747
特別利益		
受取補償金	24	—
負ののれん発生益	1,023	—
その他	3	3
特別利益合計	1,050	3
特別損失		
固定資産除売却損	77	115
投資有価証券評価損	184	—
店舗閉鎖損失	7	37
課徴金	—	1,287
その他	43	51
特別損失合計	312	1,492
税金等調整前四半期純利益	10,930	8,259
法人税等	4,659	3,874
少数株主損益調整前四半期純利益	6,270	4,384
四半期純利益	6,270	4,384

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,270	4,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	151
その他の包括利益合計	31	151
四半期包括利益	6,301	4,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,301	4,535
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,930	8,259
減価償却費	3,561	3,826
負ののれん発生益	△1,023	—
のれん償却額	444	414
受取利息及び受取配当金	△101	△119
支払利息	106	150
課徴金	—	1,287
賞与引当金の増減額 (△は減少)	941	1,069
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	217	73
売上債権の増減額 (△は増加)	△275	△548
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,255	△1,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△257	3,555
その他	2,211	2,152
小計	15,500	18,851
利息及び配当金の受取額	71	90
利息の支払額	△85	△135
課徴金の支払額	—	△1,287
法人税等の支払額	△6,418	△6,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,067	10,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,983	△2,905
無形固定資産の純増減額 (△は増加)	△102	△193
差入保証金の差入による支出	△423	△238
差入保証金の回収による収入	753	853
預り保証金の受入による収入	84	174
預り保証金の返還による支出	△501	△699
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,892	—
その他	△263	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	456	△2,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	620	△640
長期借入れによる収入	100	5,000
長期借入金の返済による支出	△3,464	△4,923
自己株式の取得による支出	△6	△2
配当金の支払額	△1,939	△2,218
その他	△202	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,892	△3,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,631	4,867
現金及び現金同等物の期首残高	16,096	18,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,728	23,856

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	316,604	1,071	317,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	563	1,296	1,859
計	317,167	2,367	319,535
セグメント利益	10,638	221	10,860

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,638
「その他」の区分の利益	221
のれん償却額	△444
全社費用等(注)	△223
四半期連結損益計算書の経常利益	10,192

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	335,746	908	336,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	544	1,374	1,919
計	336,290	2,283	338,574
セグメント利益	10,206	196	10,402

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,206
「その他」の区分の利益	196
のれん償却額	△414
全社費用等(注)	△240
四半期連結損益計算書の経常利益	9,747

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食 品	258,605	81.4	274,787	81.6	106.3
	衣 料 品	2,595	0.8	2,477	0.7	95.5
	住 居 関 連	16,825	5.3	18,153	5.4	107.9
	テ ナ ン ト	10,370	3.3	10,721	3.2	103.4
	酒 類 等	23,647	7.4	25,008	7.4	105.8
	D P E	239	0.1	222	0.1	92.9
	医 薬 品	1,201	0.4	1,156	0.3	96.3
	不動産賃貸収入等	3,119	1.0	3,219	1.0	103.2
	計	316,604	99.7	335,746	99.7	106.0
その他	観 光 事 業	304	0.1	280	0.1	92.3
	その他の事業	767	0.2	627	0.2	81.8
	計	1,071	0.3	908	0.3	84.8
合 計		317,675	100.0	336,654	100.0	106.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。